

## 第27回かがわ型グリーン・ツーリズム体験モデル企画 「小豆島の島ぐらしの秋を楽しむ食農体験」が開催されました。

かがわグリーン・ツーリズム推進協議会の主催により、標記モデル企画が令和元年11月17日(日)に、小豆島の土庄町の「小豆島陽当の里伊喜末」ほかで開催され、25名の方に参加いただきました。



小豆島陽当の里伊喜末では、サツマイモ掘り体験を楽しみました。掘り方などを地元の方に教えてもらい、芋が出てくると大人も子供も大喜び。夢中でどんどん掘っていく参加者も見られました。昔の芋の運び方(籠に入れて肩にかけて運ぶ)の体験や芋壺(種イモを収穫後土の中に保存)や芋蔓(いもづる)の塔の見学・説明もあり、伊喜末地域の伝統的な文化に触れることが出来ました。



その後、オリーブ収穫では摘み取り方を教えてもらい、手摘みで1粒1粒オリーブを摘み取りました。日本ミツバチの採蜜体験では、遠心分離機を回して搾り、搾りたての蜂蜜を味見しました。昼食はサツマイモや鱧を使った地産地消料理で、料理の説明やお品書きがあり、参加者も地元の方のおもてなしに感激。ほうろくでサツマイモを焼いていただき、「なつかしい」との声もありました。昼食後は竹馬や竹とんぼ、風船で地元の方と交流し、子供はもちろん大人の方も竹馬にチャレンジしていました。また、地元農産物の産直市も開催されており、買い物も楽しみました。



バスで移動し、寒霞溪、肥土山・中山農村歌舞伎舞台見学を行いました。寒霞溪は紅葉始め、農村歌舞伎の舞台は、厳かな雰囲気があり、なかなか訪問できない場所であると散策を楽しみました。

今回の体験が、今後の農業・農村の理解と新たな体験へのきっかけ作りになることを期待しています。